



2025年8月13日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
代表者 代表取締役社長 東郷 薫
(コード 4840 東証グロース)
問合せ先 管理部IRG課長 高橋 圭紀
電 話 03(3221)0211

2025年12月期中間連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期中間連結会計期間(2025年1月1日~2025年6月30日)の連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想との差異

2025年12月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異 (2025年1月1日~2025年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	749	39	198	243	31円21銭
実績(B)	444	△9	157	213	26円56銭
増減額(B-A)	△304	△48	△41	△29	4円65銭
増減率(%)	△40.6	—	△20.8	△12.2	—
(参考) 前第中間連結会計期間実績 (2024年12月期中間期)	401	4	231	148	18円43銭

2. 差異の理由

差異が生じた主な理由は以下のとおりであります。

① 売上高から営業利益までについて

不動産投資事業において、沖縄リゾート開発プロジェクト案件が想定を超えて遅延していることに伴い、2025年12月期第2四半期に売上高の計上を見込んでいた同プロジェクトの売上高の一部を追加で2025年12月期に計上する見込みとなりました。2025年6月に売上計上を予定していたプロジェクトの売上が第3四半期にずれ込んだことに伴い、不動産投資事業の売上高は27百万円(前年同期比48.9%減)と予想値328百万円を大幅に下回る結果となりました。売上高の大幅な減少に伴い、セグメント利益も予想値39百万円から6百万円と大幅に減少しました。

建設コンサルタント事業の売上高は310百万円(前年同期比535.1%増)と当初の計画値305百万円を若上回る結果となりましたが、原価率の高い案件が相対的に多くなった結果、セグメント利益は83百万円(前年同期比9.0%減)と予想値99百万円を下回る結果となりました。

ファッションブランド事業の売上高は106百万円と予想値114百万円を若干下回る結果となりました。広告宣伝費の効果的な運用、採算性の低いセールスの抑制により販売費及び一般管理費は当初の想

定を下回る結果となりましたが、軽井沢工場の操業不振により採算性が悪化し、セグメント利益は13百万円（前年同期比33.1%増）と予想値26百万円を大きく下回る結果となりました。

本社管理部門の一般管理費は人員増強及びIT投資が一段落し、前年同期及び計画値よりも減少する結果となりました。しかし、前述の各セグメントのセグメント利益の減少を補うには至らず、営業損益は9百万円の営業損失と予想値39百万円を下回り損失に転じる結果となりました。

② 経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益について

営業外収益については、受取利息及び海外子会社の有償減資により発生した為替差益を計上し、175百万円と計予想値164百万円を上回る結果となりました。営業外費用については、借入金に係る支払利息等を計上した結果、9百万円と予想値5百万円を上回る結果となりました。営業損益の減少を受け、経常利益は157百万円と予想値198百万円を下回る結果となりました。

特別損益については概ね予想値のとおり推移しました。この結果を受け、税金等調整前中間純利益は320百万円、法人税等106百万円を計上した結果、最終的には予想値243百万円を若干下回る213百万円の親会社株主に帰属する中間純利益を計上いたしました。

3. 通期業績予想について

現時点におきまして、2025年12月期の通期連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想へ影響を与える状況・事象が発生し、これにより通期業績予想を修正する場合には速やかにお知らせいたします

以上

（ご参考）2025年12月期連結業績予想

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2025年12月期連結業績予想	2,882	166	354	358	45円92銭